



▲外国語講座

新規会員募集!

▼ハワイへの扉を開こう♪



会長あいさつ



洲本市国際交流協会
会長 才花 毅

日頃より当協会にご理解、ご協力いただきありがとうございます。令和4年度も思うような活動が難しい状況ではありましたが、協会員各位の知恵と努力で多くの事業を工夫しながら開催することが出来ました。

その中でも姉妹都市であるハワイ郡よりミッチ・ロス郡長率いる親善訪問団をお迎えできたことは本当にうれしい出来事でした。これからも姉妹都市としての関係が続いていく実感を持たれたことが何よりでした。

研修事業では、工夫を凝らし、市民の皆様との国際交流の機会を増やすことができました。また、京都市国際交流協会への視察研修では多くの気付きがありました。会員交流会を3回開催できたことも良かったことと思っています。

私の3期6年のうち半分の3年間でコロナ禍であり、この間、姉妹都市の青少年との交流を通じた国際理解を深める機会を地元の高校生たちが失ったことは、非常に残念なことでした。しかしながら、この多難な中でも我々が行ってきたこと、また事業を通じて培ってきた知恵、経験、そして努力は、我々協会の中にも協会員一人ひとりの中にもあります。新年度は原新会長のもと、これらの成果が大きく飛躍することにつながると期待しております。

当協会にご支援いただいております皆様へこれまでのご厚意に対しまして感謝申し上げ、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

目次

P1	会長あいさつ
P2～3	海外交流部会事業報告
P4～5	研修部会事業報告

P6	会員交流部会事業報告
P7	企画部会事業報告、年間活動報告
P8	臨時総会、会員募集、賛助会員一覧



海外交流部会事業報告



7月24日(日) 午前

伊弉諾神宮を訪問し、訪問団の道中の安全と健康、そして我々の友好関係の継続を祈願し、正式参拝をしました。昼食は、いつも庵で名物の淡路



まるごと“タマネギつけ麺 華”と淡路石焼き牛丼を堪能いただきました。訪問団の皆さんは、その豪快な見た目と淡路島の旨味の詰まった料理を楽しんでおられました。その後、洲本方面に戻る道中にある人気の写真スポット、グランアイガに立ち寄りしました。



7月24日(日) 午後



「ハワイへの扉を開こう♪」と題して、訪問団の皆さんと洲本の中高生との交流事業を開催しました。コロナ禍でここ3年間、青少年の派遣・受入事業ができておらず、今回10名ものハワイの方々が来られるということで、地元の中高生にもぜひハワイの方との交流で異文化に触れ、ハワイや海外に興味を持ってもらおうと企画しました。事業には中学1年生から高校3年生までの約20名が参加しました。

第1部では、ミッチ・ロス郡長のスピーチとハワイ郡観光局の方よりハワイについてのプレゼンテーションがありました。その後、ハワイの方から贈り物があり、ハワイで友情を表すレイは、参加者一人一人に「アロハ」と声をかけながら首にかけてくれました。第2部では、ハワイの方々と交えて5つのグループに分かれて、ハワイと淡路島の食や文化をテーマに意見を交わしました。最初は恥ずかしそうにして、なかなか発言できない様子でしたが、ハワイの方々の温かいサポートのおかげで、どのグループも時間を追うごとに盛り上がり、予定時間を超えるほどでした。

参加いただいた彼らには、今後ハワイや海外へ興味を持って世界で

活躍していただいたり、当協会が予定する派遣・受入事業にも積極的に参加したりしていただけたらと思います。

Hawaii

ハワイへの扉を開こう♪



令和4年7月23日(土)～26日(火)の4日間、洲本市の姉妹都市であるハワイ郡のミッチ・ロス郡長を含めた10名の親善訪問団が洲本市を訪問しました。

洲本市とハワイ郡が平成12年11月に姉妹都市提携をする前から、洲本市国際交流協会は青少年ホームステイ派遣プログラムを中心とした相互訪問を通じた交流をしてきました。ところが、新型コロナウイルス感染症の影響で、この2年間、相互訪問による交流ができておりませんでしたので、当協会は、訪問2日目の7月24日(日)を担当させていただくことになりました。

7月24日(日) 夜

協会員とハワイの方々とシーアイガで食事会がありました。和気あいあいとした雰囲気の中で、『上を向いて歩こう』が流れたときは、合唱が始まる場面もありました。訪問団との交流はもちろん、我々協会員同士も久しぶりに交流をし、楽しむことができました。



洲本市・ハワイ郡 姉妹都市20周年記念

7月25日(月)の夕刻、淡路夢泉景において洲本市主催による「洲本市・ハワイ郡姉妹都市20周年記念式典・パーティー」が開催され、役員16名で出席いたしました。



式典の最後には、両地域の交流の絆を深めてきたこれまでの功績に対し、上崎市長から直筆の感謝状が、洲本市国際交流協会と東ハワイキワニスクラブに贈呈されました。



パーティーでは、訪問団の一員であり、これまでの交流に尽力されてきた東ハワイキワニスクラブ所属のトミー・ゴヤ氏に、才花会長が淡路瓦に足形をとるサプライズ演出をさせていただきました。

姉妹都市20周年記念瓦完成品▶



私自身も関西国際空港でのお出迎え、交流事業、夕食会、姉妹都市20周年記念式典・パーティー、お見送りとハードな4日間でしたが、貴重な経験をさせていただきました。ご参加いただいた皆さま及びご協力いただきました皆さまに、改めまして感謝申し上げます。

海外交流部会 部会長 高津 知也

研修部会事業報告

本年度研修部会では昨年度に続き「動画発信事業」「外国語講座」「外国文化理解事業」の3事業を計画・実施しました。

外国語講座

おうちでかんたん留学

本年度は計画段階より感染対策を万全に行い、2年ぶりの対面での実施もできるよう調整して参りましたが、開講期に感染が拡大し第7波という状況に鑑み、やむを得ず最終回以外はオンラインでの開催となりました。



英語初級クラス



英語中級クラス



英語上級クラス



中国語基礎クラス



中国語応用クラス

クラス	担当講師	受講生数
英語初級	ナカイヤー先生	4
英語中級	クリス先生	5
英語上級	ロイ先生	4
中国語基礎	葛言傑(エミ)先生	4
中国語応用	顧敏(クーミン)先生	3

昨年度からオンライン講座を取り入れたのですが、本年については運営側も受講生の皆様におかれましても、非常にスムーズにZoomを使いこなし、大きなトラブル無く、開講できました。やはり2年間の自粛生活の中で、新しい生活様式やそれを補完するツールに対して、抵抗感が無くなってきた結果であると思います。また、家からも簡単に受講できることも相まって、本年は高校生の方を含め、幅広い年齢層の方に受講いただけました。オンラインでも無理なく意思疎通ができるよう、各クラスの受講者数を制限したため、多くの方に参加いただけないというデメリットもありましたが、講師の方のご協力もあり、昨年よりクラス数を増やすことで対応できたかと思えます。

最終回ならびに閉講式のみは、対面で実施しました。多くの受講生に参加いただき、講師の方々を含め、非常に盛り上がる講座であったように思います。

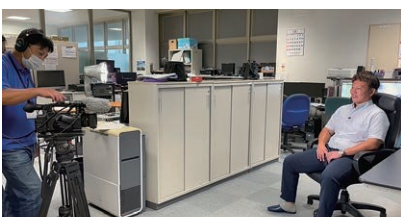
今後も対面とオンラインのメリット・デメリットを協会内でも議論することで、より良い外国語講座になるよう努めて参りたいと思います。講師の皆様、受講いただいた皆様には至らぬ点もあったこととは思いますが、心より感謝申し上げます。

動画発信事業

YOUもわたしも“すもとびと”

「YOUもわたしも“すもとびと”」というタイトルのもと、洲本市在住の外国人の方を紹介する動画を作成し、昨年度に引き続き淡路島テレビジョンと協力し、YouTubeとケーブルテレビで発信して参りました。市内学校に勤められているALT（外国語指導助手）の方をはじめ、市内企業にお勤めの方など在住外国人が市内に多くいることを改めて知る機会となりました。

第1回目はALTでカナダ出身のロシェル・ポスキルさんを訪ね、勤務されている小学校での授業風景や趣味の虫探しなど、バラエティに富んだ内容で楽しく撮影させていただきました。また、第2回目は洲本のドコモショップにお勤めの台湾出身のショウ・ボウチュウさんを訪問し、



ナレーション撮影

勤務風景、また無類のグルメ好きのショウさんの紹介で飲食店街の散策も行いました。お二方とも本当に洲本が大好きで、多くの友人にも恵まれており、このような外国人の方が多く住める街になってほしいと心から思える番組になったように思います。

これから第3回目の撮影が控えており、放送は春頃を予定しております。改めて楽しい番組にしていきたいと思っておりますので、ぜひ多くの方にご覧いただければ幸いです。



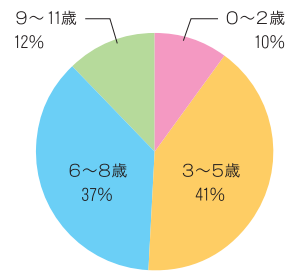
SIA Channel
(YouTube)

外国文化理解事業

作って遊んで体験！世界の文化～クリスマス準備をしよう♪～

本年度の外国文化理解事業については、当部会の中では非常に流動的な一年でありました。当初は毎年洲本市内にある大浜海岸で実施される「うみぞら映画祭」の中で、外国映画の上映とCIR（兵庫県国際交流員）の方々による外国の遊び体験を実施予定でしたが、残念なことに、うみぞら映画祭自体が台風直撃の影響により中止となり、当事業も断念せざるを得ない状況となりました。しかしながら、何とか事業実施をすべく調整し、12月3日(土)本町商店街コモド

◆参加者年齢内訳



56レインボープラザにて「作って遊んで体験！世界の文化～クリスマス準備をしよう♪～」と銘打ち、CIRの皆様の協力のもと、子ども向けのイベントを実施しました。

内容は、4名のCIRによる出身国の遊び体験ブースと、共催いただいた本町商店街のブースを含めた計5つのブースを体験するスタンプラリーでした。

中国出身のオウさんには「パンダの切り絵に挑戦」、韓国出身のコさんには「ハングル文字を組立よう」、アメリカ出身のチンさんには「クリスマスパズル」、オーストラリア出身のトミーさんには「クリスマス折り紙」、コモド56商店街さんには「クリスマスリースづくり体験」のブースを用意いただきました。

当日は長蛇の列ができるほどで、5つのブース全てのスタンプを集めた先着50名に対しお菓子のプレゼントを用意していたところ、約130名の親子連れ等にご来場いただき、大盛況のもと事業を終えることができました。コロナ禍での実施で、対策など大変な部分も大きかったのですが、近年ではなかなか子どもたちにそのような機会が無かったためか、非常に楽しそうに体験していただき、何とか本事業を実施できて良かったと心から感じています。



中国 パンダの切り絵に挑戦



韓国 ハングル文字を組立よう



オーストラリア クリスマス折り紙



アメリカ クリスマスパズル

本年度についてもやはり新型コロナウイルス感染症の影響は色濃くありましたが、昨年度までに培った感染対策や新しい生活様式の在り方が浸透したこともあり、大きな不自由もなく各事業の企画運営を行えたことが、当協会においても大きな進歩であったようにも思えます。

当協会の理事として2年目になり、多くの事業を受け持たせていただきましたが、たくさんの方々の協力のおかげで無事に終わることができました。協会員の皆様はもちろんのこと、外国語講座の講師の皆様、快く取材を受けていただいた市内在住外国人の皆様、イベントに参加いただいた市民の皆様に改めて感謝を申し上げます。

研修部会 部会長 竹田 良平

会員交流部会事業報告

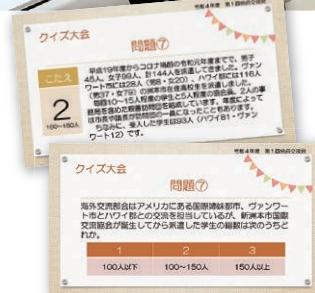
本年度は3年ぶりに会員交流会を年間3回開催することができ、多数の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

第1回会員交流会

5月27日(金)に洲本市総合福祉会館におきまして、通常総会後に第1回会員交流会を開催させていただきました。例年は食事を伴っての交流会を行って参りましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、この交流会では対面とオンラインのハイブリッド式で、かつ趣向を変えたクイズ形式で過去の国際交流協会の活動を振り返る企画をさせていただきました。姉妹都市や過去の事業などに関する問題を3つ



の選択肢から正解を導き出したり、事業実施年順に並べ替えるなど、グループで1つの答えを出すための活発なディスカッションを通して、より一層の交流を図ることができました。慣れない企画で戸惑いもありましたが、皆様のご協力のおかげで盛会に終わることができました。



第2回会員交流会



次に、第2回会員交流会は、企画部会との合同で行わせていただきました。10月16日(日)、京都への視察研修の帰りに神戸市にあるOLU OLUにおきまして、ハワイ料理を食べながらの会員交流会でした。



飲食を伴う交流会は久しぶりということもあり、早朝からの視察研修の疲れも見せず、短時間ではありましたが、料理に舌鼓を打ちながら交流を深めました。なかなか海外にいけない中で少しでも海外の雰囲気味わっていただけたのではないのでしょうか。

第3回会員交流会



最後に12月16日(金)淡路島洲本温泉 海月館におきまして、第3回会員交流会を開催させていただきました。1テーブルの人数を例年より削減するなど、ホテル関係者と協議しながらコロナ対策を講じての開催となりました。

余興では、参加者の皆様の味覚を試すテーブル対抗ゲームを行いました。ゲームの食材は水、チョコレート、ビール、ポテトチップスと、普段食べ慣れたものばかりですが、製造会社により味や口当たりが微妙に異なり、参加者の舌を惑わしました。2年ぶりのホテルでの開催で上手いかわないところもありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に終わることができました。



会員交流部会といたしましては、なかなか思うようにいかないところもあり、皆様にご迷惑をかけた部分もあったかもしれませんが、精一杯皆様に交流いただけるよう努力して参りました。1年間ありがとうございました。

企画部会事業報告

10月16日(日)、京都市国際交流協会への視察を実施し、14名の方にご参加いただきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、視察研修事業の実施・再開が難しかったことはもちろん、協会の事業全体が影響を受けてきた中で、コロナ禍後を見据えた新たな事業展開が求められていることも事実です。これまでは海外の先進地視察を行うことが恒例となっていましたが、他地域の国際交流協会の活動を見聞きすることで、洲本市国際交流協会の活動に活かし、持続可能な発展を目指すため、今回の視察研修を企画しました。

京都市国際交流協会は指定管理者として会館運営と交流事業の運営を一元的に担っており、様々な活動をされています。京都という土地柄もあって在留外国人や留学生が多く、生活サポートを中心とした活動を多く行うことで、多文化共生の社会作りに努めている印象を受けました。特に生活支援においては、日本語教育を中心に500名を超えるボランティア登録があり、各個人が12の得意別分野ごとにグループ化



され、きめ細かな行政的サポートまで行っていることを詳しく紹介いただきました。当協会の活動スタイルとの違いに刺激をいただきました。

視察後は、紅葉シーズンが到来した快晴の日曜日で観光客があふれる中、京とうふの老舗にて昼食を取り、南禅寺と伏見稲荷大社を参拝しました。直前に外国人観光客の入国制限が緩和され、その影響もあったのか、各所では外国人の姿も多く見られ、コロナ禍を乗り越えた国際交流の再始動が近いことを実感しました。

企画部会 部会長 三宅 一弘

2022.4~2023.3 The annual report

APRIL 4月19日 役員会
MAY 5月27日 役員会 通常総会 第1回会員交流会
JUNE 6月14日 役員会
JULY 7月12日 役員会
 23日~26日 ハワイ郡親善訪問団受入
 24日 ハワイへの扉を開こう♪
AUGUST 8月9日 役員会
SEPTEMBER 9月8日 外国語講座開講式
 13日 役員会



OCTOBER 10月1日 YOUもわたしも“すもとびと”Vol.1 You Tube配信開始
 11日 役員会
 16日 京都市国際交流協会視察研修 第2回会員交流会
NOVEMBER 11月8日 役員会
DECEMBER 12月1日 外国語講座閉講式
 YOUもわたしも“すもとびと”Vol.2 You Tube配信開始
 3日 外国文化理解事業
 16日 役員会 臨時総会 第3回会員交流会

FEBRUARY 2月14日 役員会
 25日 SIA発行
MARCH 3月1日 YOUもわたしも“すもとびと”Vol.3
 You Tube配信開始
 14日 役員会



臨時総会

12月16日(金)に臨時総会が開催され、令和5年3月31日に任期満了を迎える会長と監事の選任がなされました。新会長には現副会長の原一雅氏が、監事には現監事の酒井一成氏と谷政智氏の再任が承認されました。なお、任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間です。



洲本市国際交流協会
次期会長(現副会長)
原一雅

次期会長あいさつ

12月の臨時総会において、次期会長に選任いただきました原一雅です。洲本市国際交流協会のメイン事業である海外との交流事業がストップして3年が経ちました。この間、計画を立てては中止を繰り返してきた事業が多い中、動画配信等の企画が新たに実施され、海外には行けなくても地元の洲本にいながらにして、オンラインで世界と繋がることのできるんだと実感できた事業もありました。

この会報誌が発行される頃にはコロナの終息に目途がたって、制限が緩和され、より自由で幅広い活動ができるようになることを期待して、次年度の活動準備を進めて参ります。多くの皆様に活動の輪を広げていけるよう、ご支援ご協力よろしくお願いたします。

新規会員募集中!

随時募集していますので、ぜひ、ご家族、ご友人もお誘いください。協会の事業内容や、活動報告、入会申込書は、ホームページで案内しています。

ホームページ随時更新中!

<https://www.awaji-is.or.jp/sia-op/>



お申込み・お問い合わせ 洲本市国際交流協会事務局(洲本市企画情報部企画課内) ☎0799-26-0175

洲本市国際交流協会の活動にご理解ご支援いただいています

▶賛助会員一覧(50音順)

淡路島洲本温泉 海月館

淡路信用金庫

淡路土建株式会社

淡路マテリア株式会社

淡路ヤクルト販売株式会社

一般財団法人五色ふるさと振興公社

稲田運送株式会社

学校法人柳学園 蒼開高等学校

株式会社あべいすと

株式会社淡路開発事業団

株式会社淡路島第一次産業振興公社

株式会社淡路島テレビジョン

株式会社伊富貴製作所

株式会社薫寿堂 五色工場

株式会社国益電業社

株式会社柴田工務店

株式会社島花

株式会社ホテルニューアワジ

久米石油株式会社 洲本給油所

才花建設株式会社

三洋電機株式会社

大昭和精機株式会社 淡路第2工場

淡陽信用組合

橋詰建設株式会社

原田建設株式会社

ミサキ電機株式会社

有限会社うづ志ほ名産店

有限会社ダイニチ工業

有限会社浜田デザイン写植

有限会社兵庫県洲本自動車教習所

夢海游 淡路島

ありがとう
ございます!



編集後記 企画部会 部会長 三宅一弘

コロナ禍と言われ始めて数年が経ち、コロナ禍だからと実施できない言い訳をすることなく、どんな事業内容なら展開できるのか、再始動できるのかを考えさせられた一年ではなかったでしょうか。その成果は今号の記事通りであり、皆様のご協力によって会報誌が発行できたことに感謝申し上げます。新年度からは新会長のもとで、より一層工夫しながら活動を行います。

当協会に興味を持っていただけた方は、お気軽にご参加いただければ幸いです。

